

ロマンティック・Jブラームス(6)

〈ブラームスと友人作曲家 キルヒナー〉

Brahms and Kirchner

ブラームスが高く評価した〈キルヒナー編曲／弦楽六重奏曲のピアノトリオ版〉

- | | | | |
|---------|---|--------------------------|-------------|
| ■ プレトーク | ／ | ブラームスとキルヒナーについて | |
| ■ ブラームス | ／ | シューマンの主題による変奏曲 | Op.9 |
| ■ ブラームス | ／ | ヴァイオリンソナタ 第1番 ト長調 | Op.78 「雨の歌」 |
| ————— | | | |
| ■ ブラームス | ／ | チェロソナタ 第2番 へ長調 | Op.99 |
| ■ ブラームス | ／ | 弦楽六重奏曲 第1番 変ロ長調 | Op.18 |
| | | キルヒナー編曲 ピアノ三重奏曲 編 (1883) | |

Vn 山本はづき (JBS 会員 群馬交響楽団 第2ヴァイオリン首席)

Vc 林 峰男 (JBS 音楽監督 国際スギキョード音楽院教授)

Pf 中井恒仁 (ゲスト 桐朋学園大学准教授)

監修／プレトーク 西原 稔 (JBS 顧問 桐朋学園大学教授)



山本はづき



林峰男



中井恒仁



西原稔

2011年12月4日(日) 2pm

会場 青山ドイツ文化会館OAGホール

チケット 全自由 一般¥4000 学生¥2500

後援

ドイツ連邦共和国大使館
ドイツ・ハンブルク国際ブラームス協会
アメリカブラームス協会 (ABS)

助成

(公益財団法人)ローム ミュージック ファンデーション

チケット

東京文化会館TSチケットサービス Tel 03-5685-0650

お問合せ

日本ブラームス協会 Tel/Fax 03-3990-0611

HP

<http://www3.ocn.ne.jp/~jbs>



●山本はづき (Vn) Hazuki Yamamoto JBS 会員

4歳よりヴァイオリンを始める。第40回全日本学生音楽コンクール中学校の部、東日本大会第2位入賞。第59回日本音楽コンクール第2位、松下賞受賞。桐朋学園女子高等学校音楽科卒業後、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを経て、英国王立音楽院大学院を首席で修了。留学の際、安田生命クオリティオブライフ文化財団の助成金を得る。在学中、故久保田良作、久保良治、ジョルジュ・パウクの各氏に師事。故シモン・ゴールドベルグ氏、故アイザック・スターン氏のマスタークラスを受ける。桐朋学園オーケストラのメンバーとして、カーネギーホール100年祭、フランスのエヴィアン音楽祭に参加。フランス南西部演奏旅行では、ソリストとして桐朋オーケストラと協演。紀尾井シンフォニエッタ東京のメンバーとして、2000年の欧州公演(オランダ、オーストリア)、2005年のドレスデン音楽祭に出演。帰国リサイタル、文化庁助成によるリサイタル、奏楽堂バロック・シリーズ、各地の音楽祭に出演等、ソロ、室内楽活動を行っている。現在、群馬交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者。

●林峰男 (Vc) Hayashi Mineo JBS 音楽監督

東京芸大付属高校、桐朋学園を経て、ジュネーブ音楽院を首席で卒業。斎藤秀雄氏に師事する。ベルガート国際チェロコンクールで1位。ロザンヌを本拠にしながら、ヨーロッパ、アメリカ、日本で演奏会を開く。この間モントル音楽院、ロザンヌ音楽院の教授を歴任。1995年のデビュー20周年演奏会をガルスホールで4日間連続開催し、P園田高弘氏と共演するなど高く評価された。また2005年デビュー30周年演奏会はVn加藤知子、P伊藤恵と「ショスタコーヴィチ没後30周年記念演奏会」を各地で開催しNHK-BSで放映される。日本ブラームス協会では音楽監督として1995年より「室内楽シリーズ」で若手育成のため積極的に共演し、1997年ブラームス没後100年記念を東京文化会館で、1998年協会25周年を津田ホールで、2003年の協会30周年では大阪フェニックスホール、東京第一生命ホールと初の東西公演にも貢献する。現在国際スキレット音楽院教授として後進の指導にもあたっている。

●中井恒仁 (P) Nakai Nobuhito ゲスト

東京芸術大学附属音楽高校、同大学、同大学院、DAADの奨学生としてミュンヘン音楽大学大学院修了後、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学にて研鑽を積む。日本音楽コンクール第3位の他、国際コンクールにおいても、ブラームス第2位・聴衆賞、セニガリア優勝・歌曲伴奏賞・室内楽賞、ヴィオッティ(ヴェルチェリ)第3位、プラハの春ディプロマ、マヴィ・マルコツ最高位等入賞多数。バルティエニ氏指揮・都響や、W・ケンプ生誕100周年記念・ベートーヴェン・ピアノ協奏曲全曲演奏会(伊)出演など内外のオーケストラとの協演、ブラームス全曲シリーズやリサイタルの他、夫人・武田美和子とのピアノデュオは国際音楽コンクール世界連盟WFIMC加盟コンクールに個々のソロとデュオ共に入賞している唯一の邦人ペアで、活発な活動をしている。テレビ「名曲探偵アマデウス」「ピアノぴあ」やラジオの出演、音楽誌への連載も行う。近年では、フランスのボルドー音楽祭やドイツでのリサイタルツアーに招聘され新聞紙上で絶賛された。ソロのCD「ブラームス」、ピアノデュオのCD「ブラームス：ハンガリー舞曲集&ワルツ集」、「ラフマニノフ組曲」、「モーツァルト」をリリース。現在、桐朋学園大学准教授。同大学院においても指導にも携わっており、全国各地でのセミナーやパリ・エコール・ノルマル音楽院でマスターコースも行う。ウェブサイト nakai-takeda.com

●西原稔 (プレトーク) Nishihara Minoru JBS 顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授。19世紀音楽と音楽社会史を専門とする。著書は「音楽の社会史」(音楽之友社)、「聖なるイメージの音楽」(音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「<楽聖>ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「音楽史ほんとうの話」(音楽の友社)、「ブラームス」(音楽の友社)。その他翻訳、監修など。ブラームス研究と並んで、シューマンのピアノ作品の成立史を研究、その研究成果は出版が予定されている。日本ブラームス協会顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当して、その研究成果を年会誌「赤いはりねずみ」に発表している。